

# 2025年度 審判講習会

---

2026年2月22日

競技運営委員会 審判部会

## 対象：

- 本部公認審判員

## 目的：

- **新ルールおよび関連知識の最新動向**を理解し、運営への反映を図る。
- **過去事例**をもとに、競技会規模を問わず応用可能な**運営上の知見**を習得する。
- 得られた情報を**競技会および加盟団体へ展開**し、全国的な運営水準の向上につなげる。

### 公認審判員規程

第10条 公認審判員の技術向上ならびに、公認審判員養成のため審判講習会を行う。

第11条 前条による講習会は本部において年1回以上、主として本部公認審判員を対象に行う。

第12条 加盟団体およびその集合体（ブロック）は、前条による講習会終了後、随時その受講者が講師となってい、その状況を本部に文書をもって報告する。

1. 新ルール of 国内適用方針
2. 主なルール変更点（抜粋）
3. ジュリーの実践事例（2025デフリンピック東京）
4. さいごに

1. 新ルール of 国内適用方針
2. 主なルール変更点 (抜粋)
3. ジュリーの実践事例 (2025デフリンピック東京)
4. さいごに

## ■ 施行開始：

- **2026年4月1日**より適用開始

## ■ 対象大会別の運用方針：

- 国スポや全日本をはじめとするG1・G2の競技会においては、原則として新ルールを適用する。
- G3・G4競技会における具体的な運用については、各大会主催者からの要項や方針を確認すること。

## ■ 審判員の心得：

- 参加する競技会への影響を関係者と確認しておく。
- 最新版のルールブックを熟読し、スムーズに説明・運用できるように準備しておく。

## ■ IOCからの要請：

ライフル競技の「ロボットのような歩き方」がスポーツの外観を損ねていると指摘を受けている。五輪競技としての存続をかけて外観やプレゼン能力を改善することが不可欠として変更を行なった。

## ■ 脱「技術的ドーピング」：

ウェアの「硬さ」による人工的サポートを排除し、選手の純粋な射撃スキルを重視する。

## ■ 経済的公平性：

常に新品の硬いウェアを買える一部の層に有利な状況を是正し、誰もが平等な条件で競える環境を作る。

## ■ 検査の迅速化：

選手を長時間待たせる現在の検査フローを改善し、短時間で終わる合理的な検査へ移行する。

ISSFは、今回の改訂が選手に**追加の購入コストを強いるものではなく、既存の用具の調整や変更などの簡単な修正**により、新ルールに適合させることが可能だと強調している。

## ■ トップ層への影響：

トップ層が競争する大会で国際基準を適用しなければ、国際大会で不利な状況に置かれてしまう。

## ■ 上位大会への橋渡し：

国スポ等のG1・G2大会を目指す選手のために、可能な限り新ルールに準拠した対応・指導・助言を行う。競技会ごとにルール運用が異なると、選手のコンディション調整や用具のセッティングに多大な影響を及ぼし、パフォーマンスを阻害する恐れがある。

## ■ 経済的公平性：

常に新品の硬いウェアを買える一部の層に有利な状況を是正し、誰もが平等な条件で競える環境を作る。

## ■ 検査の迅速化：

特にG1・G2大会では事前の用具検査に時間がかかる。選手を長時間待たせる現在の検査フローを改善し、短時間で終わる合理的な検査へ移行する。

1. 新ルールの国内適用方針
2. 主なルール変更点（抜粋）
3. ジュリーの実践事例（2025デフリンピック東京）
4. さいごに

全ての変更を網羅することはできない為、ここでは競技の進行に大きく関わる項目を重点的に説明する。

詳細な条文については、HPの「最新版ルールブック」および「新旧対照表」を確認すること。

ホーム	協会について	大会情報	競技を始める	競技について	会員向け情報	ライフル Q&A	お
<a href="#">第5章 ISSF アンナドーピングルール</a>					会員向け情報		
<b>競技ルール2026年4月1日版 (2026年4月要)</b>					ルール情報		
<b>一括版</b>					認定コーチ		
<b>各種様式</b>					推薦要綱と様式について		
<b>新旧対照表</b>					選手強化委員会関連要綱		
<a href="#">2026年度版ルール 新旧対照表</a>					各種文書のダウンロードのご案内		
					書籍・グッズ類価格表		
					JSCとの個人情報の共同利用について		
					資料室		

会員向け情報>ルール情報

[https://www.riflesports.jp/rule\\_info/](https://www.riflesports.jp/rule_info/)

概要	2023年版	2026年版
50m三姿勢本選の屋外射撃場の競技時間変更	1時間30分（90分）	屋外：1時間45分（105分） 屋内：1時間30分（90分）
50m三姿勢ファイナルの形式および弾数変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 膝射→伏射→立射の順で、姿勢ごとに制限時間が区切られている</li> <li>・ 膝射5発×3、伏射5発×3、立射5発×2</li> <li>・ 通算40発で7位・8位が脱落</li> <li>・ その後は単発射撃（1発50秒）で、通算45発目まで実施し優勝決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>膝射10発+伏射10発+立射の試射を、合計22分の制限時間で一括実施</b></li> <li>・ 立射は5発×2シリーズのみ</li> <li>・ 通算30発で7位・8位が脱落</li> <li>・ その後は単発射撃（1発50秒）で、通算<b>35</b>発目で優勝決定</li> </ul>

CRO（射場長）の号令タイミングおよび競技の進行方法が変更となるため、**競技前に十分確認**すること。  
運用に不安がある場合は、必要に応じてリハーサル等を実施すること。

▼50m三姿勢ファイナル アジア選手権2026デリー 動画：

[https://www.youtube.com/live/P2FhwpsZb\\_g?si=Scm5E\\_uzTUVuw2-E](https://www.youtube.com/live/P2FhwpsZb_g?si=Scm5E_uzTUVuw2-E)

概要	2023年版	2026年版
10mミックスチーム本選の競技時間変更	試射：10分間 本射：30分間	試射： <b>15</b> 分間 本射： <b>40</b> 分間
10mミックスチームファイナルの形式および弾数変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>銅メダル決定戦（3位 vs 4位）の後、金メダル決定戦（1位 vs 2位）を実施</li> <li>1発ごとに得点を比較する<b>ポイント制</b></li> <li>先に16ポイントを獲得したチームが勝利</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本選上位4チーム8名が同時に射撃する<b>累計得点方式</b></li> <li>5発×3シリーズ後、単発射撃で段階的に脱落</li> <li>通算18発で4位、21発で3位が決定</li> <li>通算<b>24</b>発終了時点の合計得点で優勝を決定</li> </ul>

CRO（射場長）の号令タイミングおよび競技の進行方法が変更となるため、**競技前に十分確認**すること。運用に不安がある場合は、必要に応じてリハーサル等を実施すること。

▼10mARMIXファイナル アジア選手権2026デリー 動画：

<https://www.youtube.com/live/lrs8p6B0qSc?si=gAHLAUC-O6kSZ9nQ>

概要	2023年版	2026年版
ジャケットのオーバーラップの基準値変更	ボタン等を留めた状態よりも、少なくとも <b>70</b> mm以上重ね合わせる ことができなければならない。	ボタン等を留めた状態よりも、少なくとも <b>80</b> mm以上重ね合わせる ことができなければならない。
ライフル伏射種目でズボン着用が可能	射撃用ズボンはライフル伏射種目では着用してはならない。ライフル三姿勢種目の伏射ステージでは着用してもよい。	射撃用ズボンは <b>ライフル伏射種目</b> 、および <b>ライフル三姿勢種目の伏射ステージ</b> で着用してもよい。

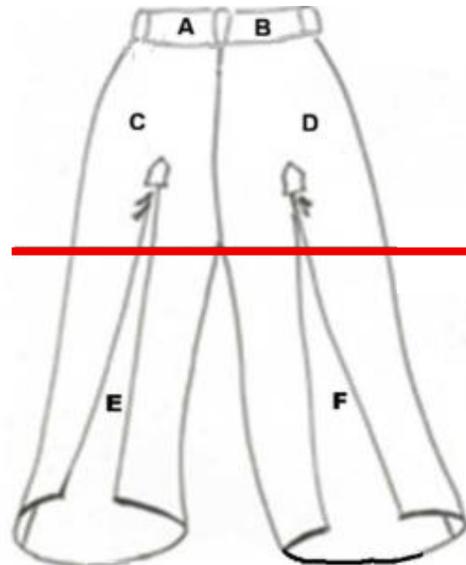
オーバーラップの測定器具および測定方法については、現在メーカーや他国の運用を確認中であり、情報があり次第、競技運営委員会からお知らせを予定している。

従来の検査器具を用いて70mmの**基準値ギリギリ**の場合は特に注意を要する。

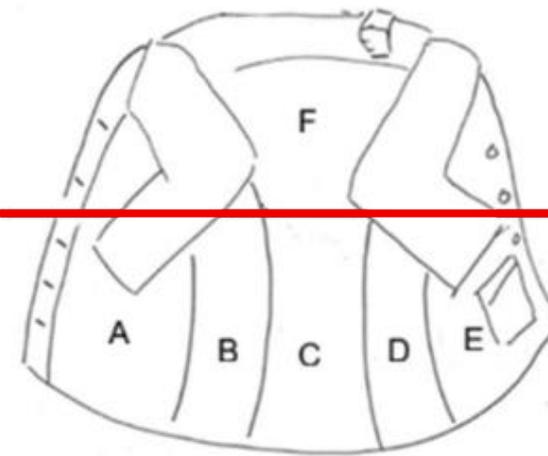
概要	2023年版	2026年版
ズボンの硬さ検査の測定時間の設定	(2023年版には存在しない規則)	<b>上部エリア</b> (股の高さより上、図1内ズボンA,B,C,D) は <b>30秒以内</b> に、 <b>脚部エリア</b> (股より下、図内ズボンE,F) は <b>15秒以内</b> に3.0mmの測定値を達成しなければならない。
ジャケットの硬さ検査の測定時間を設定	(2023年版には存在しない規則)	<b>上部エリア</b> (肩甲骨の最下点より上の部分、腕を除く、図1内F) は測定開始から <b>30秒以内</b> 、 <b>下部エリアおよび袖</b> (図1内ジャケットA,B,C,D,E) は測定開始から <b>15秒以内</b> に3.0mmの測定値を達成しなければならない。

図1 ズボンとジャケットの検査対象エリア

ズボンは**内側から**測定する



ジャケットは**外側から**測定する



**上部エリア : 30秒以内**

**下部エリア : 15秒以内**

- 用具規程の変更に伴い、これまでのあらゆる検査済みタグ（ワнтаイムオンリータグ）および検査済証は2026年4月1日をもって無効となる。
- 各加盟団体の選手や関係者に対し、周知徹底をお願いいたします。

図2 ワнтаイムオンリータグ



図3 ワнтаイムオンリー検査済証



## ワнтаイムオンリー検査とは？（6.7.6.2e）

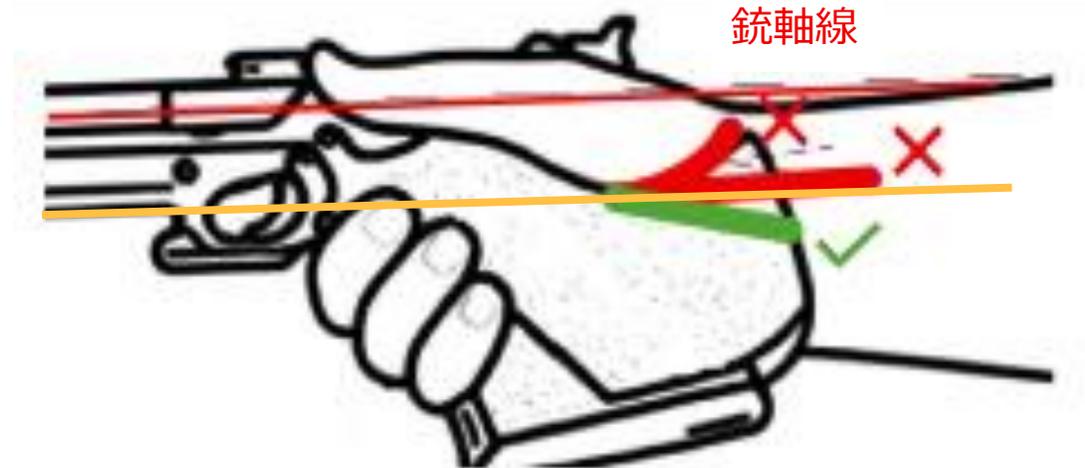
- 用具検査を効率化するための登録制度。
- 全用具の検査に合格した選手に固有のシリアル番号入りタグ（図2）をジャケット・ズボンに付与し、検査済証（図3）を渡す。
- 一度このタグが付与された用具は、その後の競技会において「検査済み」として登録されるため、大規模大会ごとに発生していた数時間の検査待ちをなくし、選手・役員双方の負担を軽減する。
- 現場での検査を競技後検査（PCC）のみに限定し、スムーズな競技進行を可能にする

概要	2023年版	2026年版
10mピストルグリップのCの長さ（図4）の制限新設	10mピストルはCの長さの規程は2023年版に存在しない。	10mピストルはCの長さが <b>40mm</b> を超えてはならない。（図4内Cの赤線）
ピストルグリップの曲線D（図4、図5）の規程新設	（2023年版には存在しない規則）	10mピストル、25mピストルともにグリップが <b>手を取り囲むような形状は認められない</b> 。曲線D（図4、図5）は、銃身の軸線に対して必ず <b>下向き</b> でなければならない。この曲線が銃身軸に対して平行であったり、上向きになったりする箇所が一点でもあってはならない。

図4 ピストルグリップの規程図



図5 ピストルグリップの曲線DのOK、NG例



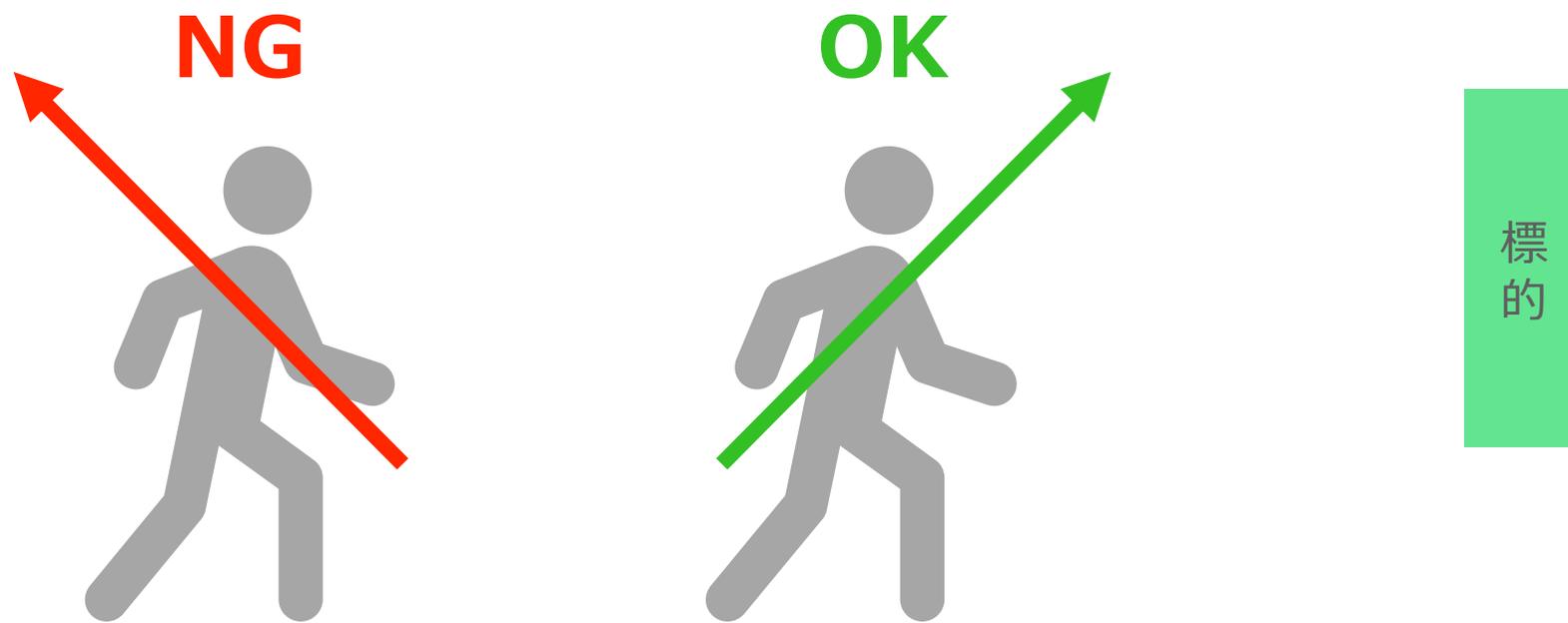
1. 新ルールの国内適用方針
2. 主なルール変更点（抜粋）
3. ジュリーの実践事例（2025デフリンピック東京）
4. さいごに

- 2025年に東京で開催されたデフリンピック（NTC会場）での運営知見は、他大会にも応用可能な貴重なレガシーである。
- 過去講習会のアンケートからも実践事例は強く求められており、本大会における事例を共有する。
- ジュリーの判断は、**状況や背景によって変わりうるもので、必ずしも「正解」があるわけではない。**
- 単なる「判断結果」を知るだけでなく、「**なぜその判断に至ったか**」というプロセスを理解することで、**現場での裁定力を養っていただく**ことが本パートの目的である。
- 得られた知見をご自身に関わる競技会でどう応用できるかを考え、実践に繋げていただきたい。

**ライフル・ピストル（射場） ジュリー**

**講師：岡田 亜美**

- 事例：練習時間中で銃口が垂直より後ろ（標的と逆方向）を向いていた。
- 対応：注意し、標的側へ向けるようコーチに指示し修正を依頼した（6.2.2.2）。
- ポイント：銃口管理の徹底。



■ 事例：入場時の身だしなみチェック

■ 対応：

- 入場時にボタンを留め、ズボンのチャックを閉めさせた。
- ファイナル前のブリーフィング時に選手・コーチに案内した。

■ ポイント：配信がある場合、視聴者への見え方に注意する。

- 事例：顔の視認性確保
- 対応：横から撮影する際、バイザーで顔が隠れる選手に対し、配信のために位置を調整させた。ファイナル後の写真撮影でもバイザー・メガネを外すよう指示した。
- ポイント：メディアへの配慮。選手の表情が見えることは配信上重要。

**NG**



**OK**



- 事例：本選中の射座の用具管理。
- 対応：配信に映るため、不要なケースやかばんを観客席や控え室へ移動させた。
- ポイント：メディアへの配慮。射座をクリーンに保つ。

- 事例：隣の選手の空薬莖が当たる、ため息が気になる、体がぶつかりとジュリーに相談があった。
- 対応：コーチを通じて「妨害にならない配慮」を促した。
- ポイント：コーチを介した調整。PET中に対応できるように選手やコーチが相談しやすい環境を作る。



- 事例：ファイナル用の射座の前のモニター位置調整。
- 対応：選手から「モニターが視界に入り邪魔だ」と移動リクエストがあり、可能な限り位置の調整を行い選手の合意を得た。
- ポイント：公平性と安全に影響しない範囲で選手の心理的障壁を取り除く。

- 事例：視覚的なブリーフィング。
- 対応：ファイナル経験が少ない選手や英語が苦手な選手、耳が聞こえづらい選手のため、内容をテキスト化して配布し、手話通訳を入れた。
- ポイント：公平な情報伝達。全員がルールを正しく理解できる環境を整える。

ブリーフィングの様子



ブリーフィング時に配布したテキスト文書  
※講習資料として配布します

## 10m エアライフル男子ファイナル ブリーフィング

2025年11月16日 14:45 ファイナル開始

### ファイナル形式

ファイナルは、250秒の制限時間内に5発の本射を行うシリーズを2回(5+5発)実施します。続いて、50秒の制限時間内に14発の単発本射をコマンドに従って実施します。

最下位のファイナル進出選手の順位確定は12発目後に開始され、金メダルと銀メダルが決定するまで2発ごとに継続されます。

ファイナルでは合計24発を行います。

### ブリーフィング

射場への入場は14:35です。3分前に整列の呼び出しがあります。

ジャケットのボタンを留め、ズボンには背部のみ開けてください。

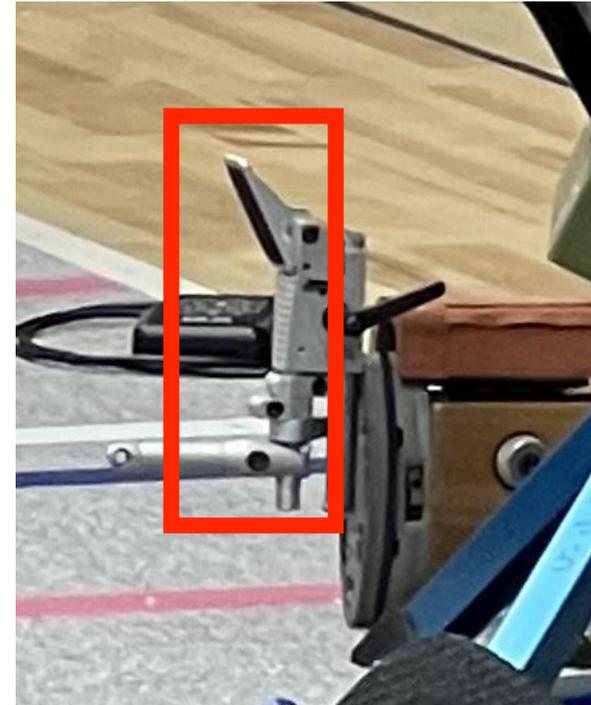
コーチはジュリーと共に最初に入場します。コーチは着席してください。(ジュリーとROは「TAKE YOUR POSITIONS」の号令まで起立)

選手は一人ずつ入場します。名前が呼ばれるまで待機してください。第二ジュリーが入場のタイミングを案内します。

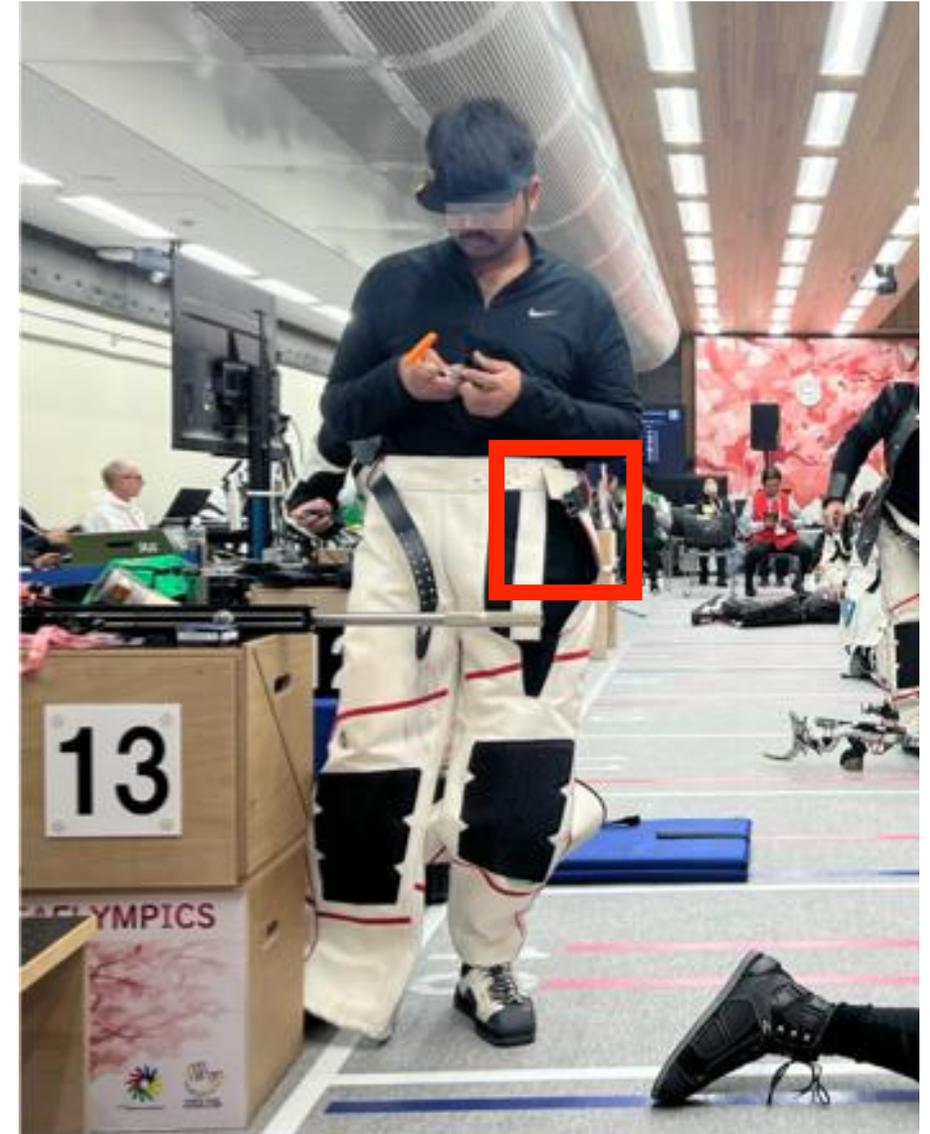
FOP内ではコーチを含め、携帯電話の使用を禁止します。

デジタルオーディオシステムによる音の差は禁止します。

- 事例：50m三姿勢 バットプレートの深さ
- 対応：姿勢によってはバットプレートが深すぎる選手があり、修正させた。
- ポイント：PETでの姿勢ごとにチェックする。 検査時に全姿勢を確認しきれない場合があるため、射場ジュリーも現場で確認する。



- 事例：立射姿勢でのベルトの二重使用。
- 対応：立射で肘を置く側のベルトが二重になっていた選手にPETで注意した。
- ポイント：ジャケットを脱いだ際のベルトの位置を入念にチェックする。PET時に気づき、本選で違反とならないよう、事前に修正させる。



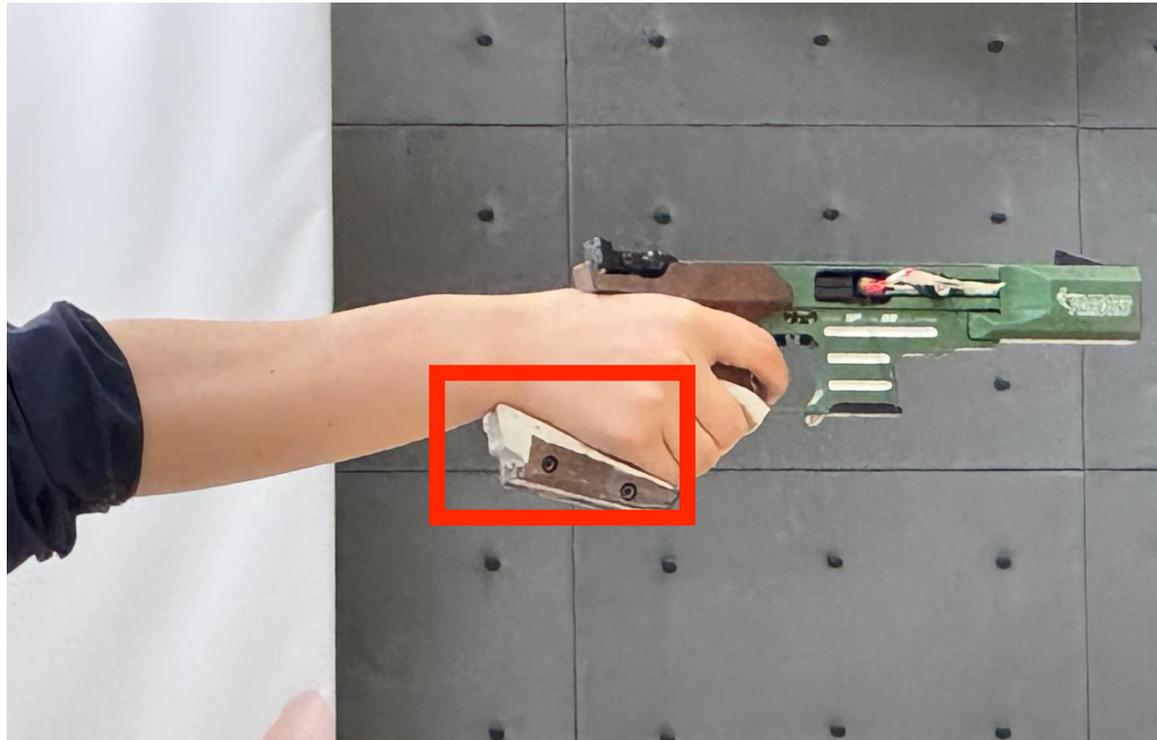
- 事例：身体と銃の接触
- 対応：リアサイトに眉の骨がしっかり接触している選手がいたが、本選中だったため指摘を見送った。
- ポイント：身体サポートになる接触は禁止（7.6.1.3 f）。PETでの発見を徹底する。



- 事例：50m伏射 ライフルがジャケットに密着していた。
- 対応：銃の安定を補助するサポートである（7.6.1.2）とPETで写真とルール文を提示し、コーチに注意した。
- ポイント：PETでチェックする。



- 事例：25mRFPピストルのグリップ。
- 対応：気付かず。グリップが手首に触れているのは銃の安定を補助するサポートであると言える（8.4.1.6 c、8.7.1）。
- ポイント：PETでチェックする。



- 事例：ジュリーメンバーの情報共有・連携。
- 対応：対応が被る種目がないか、ファイナル時のメインジュリー・サブジュリーの割り当て等、毎朝シフトやチェック事項、申し送りを確認。
- ポイント：主任ジュリーが主導してメンバーのシフト管理や申し送りを行う。



- **公平性の担保**：全ての選手が同じ条件で競技できているか。
- **スポーツプレゼンテーション**：観客や配信を意識した「見せ方」の管理。
- **冷静な対応**：予期せぬ事態でも動揺を観客や選手に伝えない。
- **信頼を生むコミュニケーション**：選手・コーチと対立せず、相談しやすい関係を作る。指摘は「命令」ではない。
- **適切な指摘タイミングと配慮**：練習時間内（PET等）に、言葉だけでなく、ルールブックの番号や図解、写真を見せて説明する。

競技会の性質によって判断や対応は変わりうる。  
**状況に応じて柔軟に判断し、適切に対応することが求められる。**

**ECジュリー**

**講師：山下 せろな**

- 本日のポイント

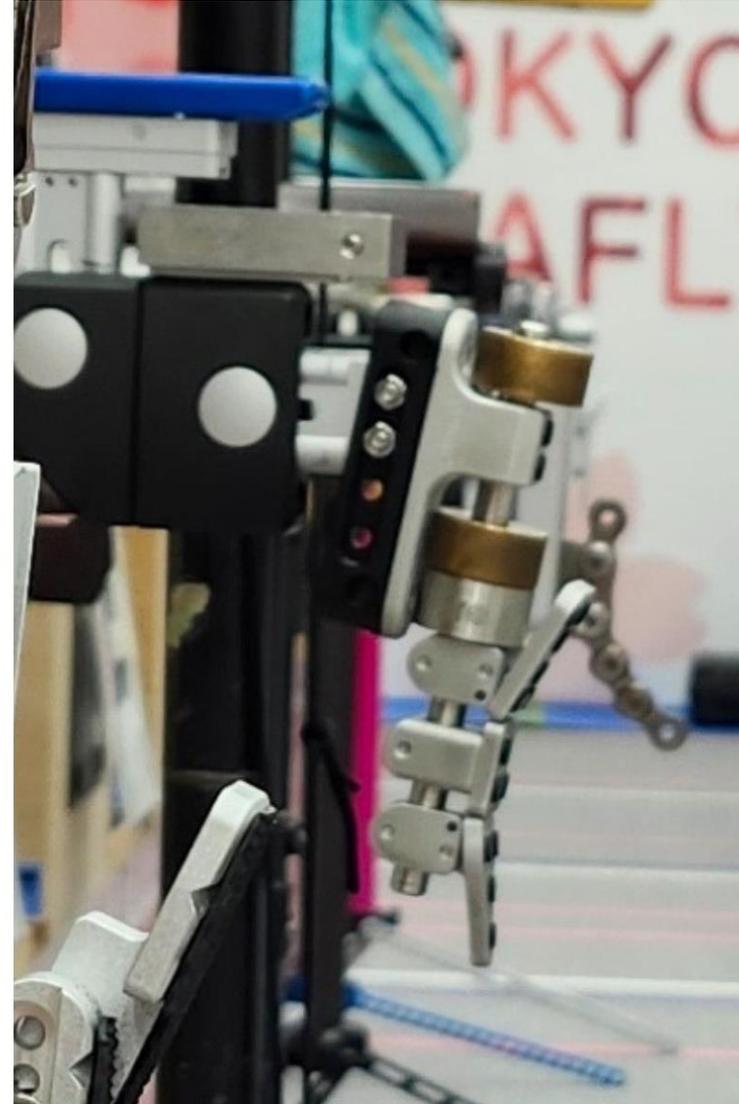
- イレギュラーな事態への判断
- 現場の視点を体験してみましよう  
デフリンピックの事例共有(クイズ形式) (Case 1&2)
- まとめ



## 【Case 1】 このセッティング、問題なし？



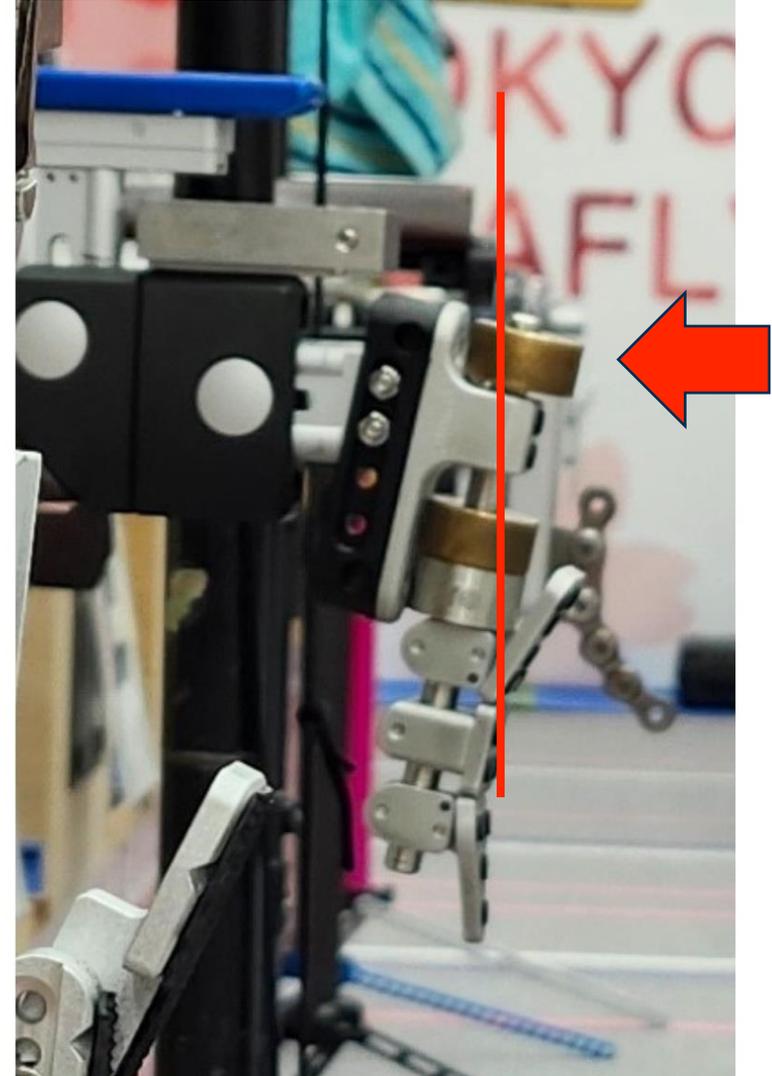
## ■ 【Case 1】 このセッティング、問題なし？



## ■ 【Case 1】 このセッティング、問題なし？

**正解：**ウェイトがバットプレートの  
最深部より後方にはみ出していた

7.4.2.2 c)  
ウェイトは、バットプレートの最深部を  
通る垂直線より後部に突き出して  
設置することはできない



## ■ 【Case 1】 このセッティング、問題なし？

状況：10mエアライフル、ファイナルブリーフィング中(ファイナルEC終了後)

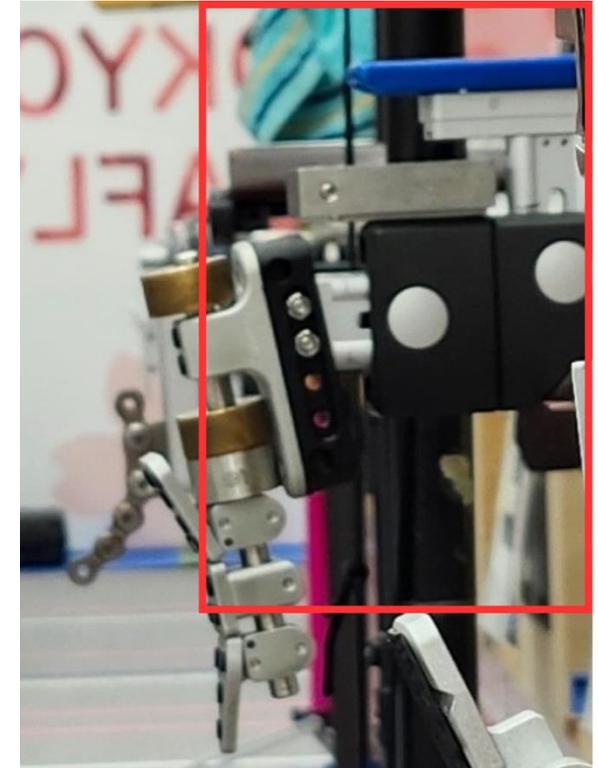
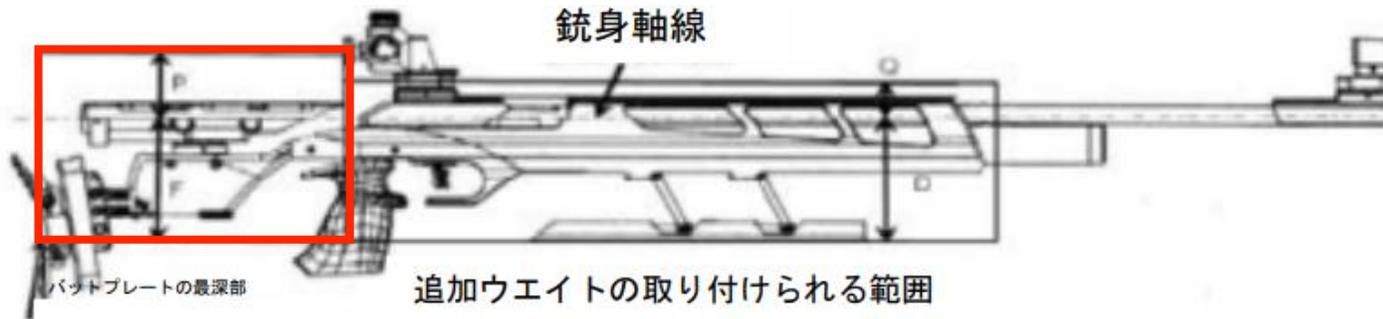
対応：ファイナル後に、コーチを通してルールに合うよう修正依頼

気が付いた時点では、選手に指摘はしない

### 7.4.2.2

#### ウェイト

- c) 銃身ウェイト以外のウェイトはライフルのどの部分にも装着ができるが、次の図で示す範囲内に限られる。フォアエンドの下側に取り付けられるウェイトについては、水平方向（側方）には、チークピースの最大拡張幅（J1）を超えて取り付けることはできない。バットストックに取り付けられるウェイトは、バットプレートの最深部を通る垂直線より後部に突き出して配置することはできない。



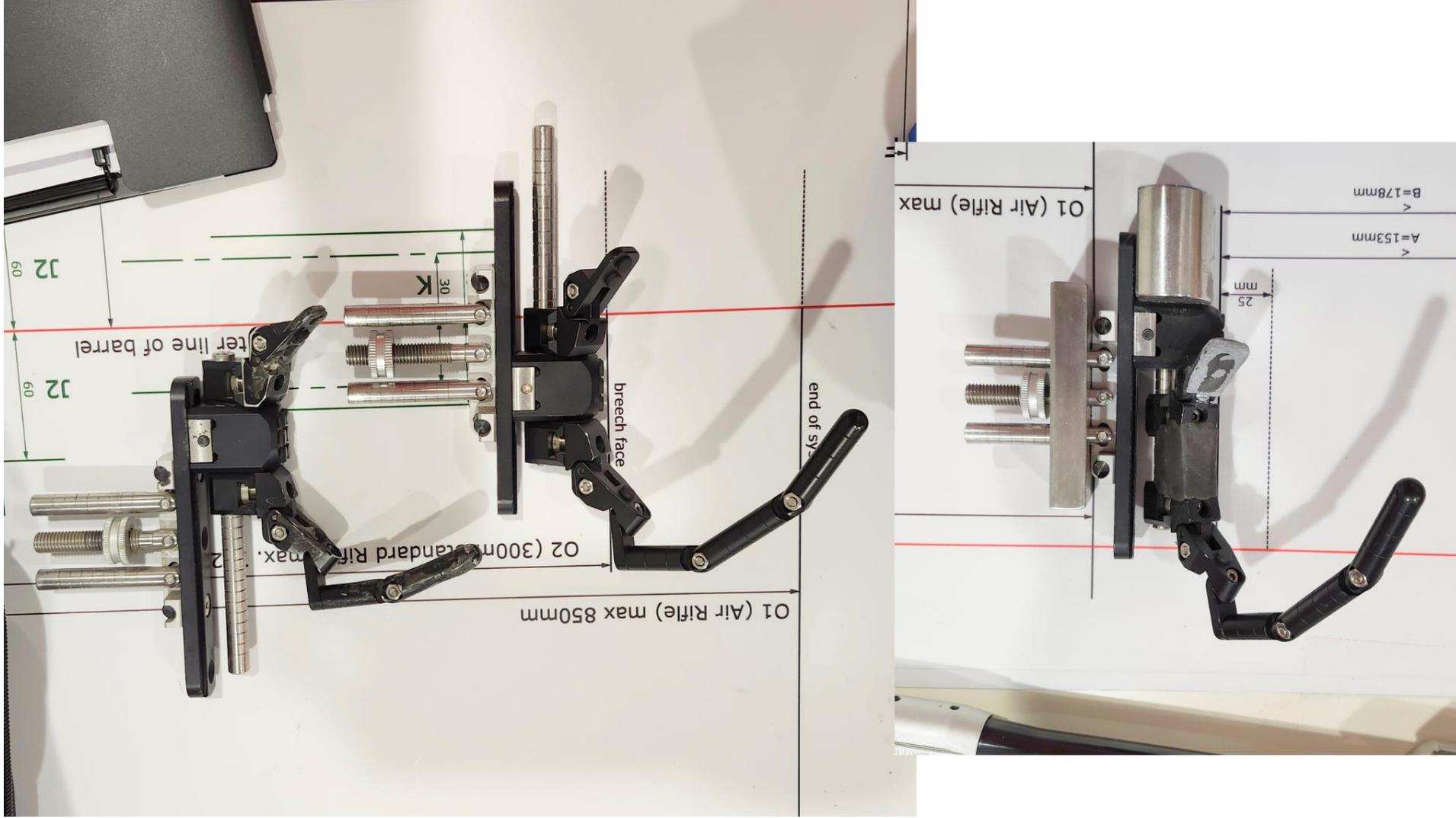
# 用具検査(EC)ジュリーの対応事例

## 【Case 2】ライフルテンプレートの上では合格ですが…？

状況：50mライフル、事前用具検査中(3姿勢、伏射にエントリー)

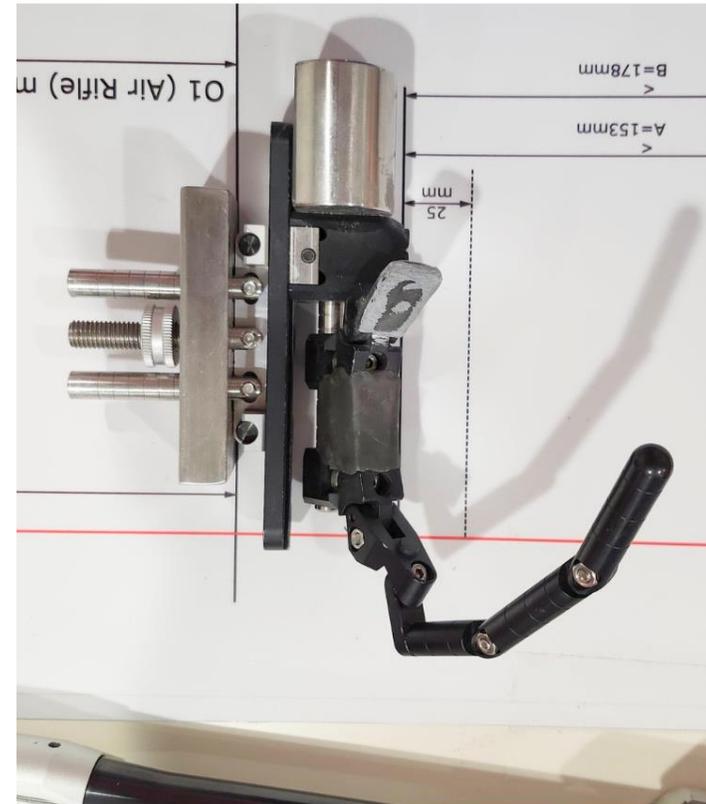


## 【Case 2】ライフルテンプレートの上では合格ですが…？



## ■ 【Case 2】 ライフルテンプレートの上では合格ですが…？

**正解：**バットプレートを銃身軸線から  
水平に回転させると深さが  
25mmを超えていた

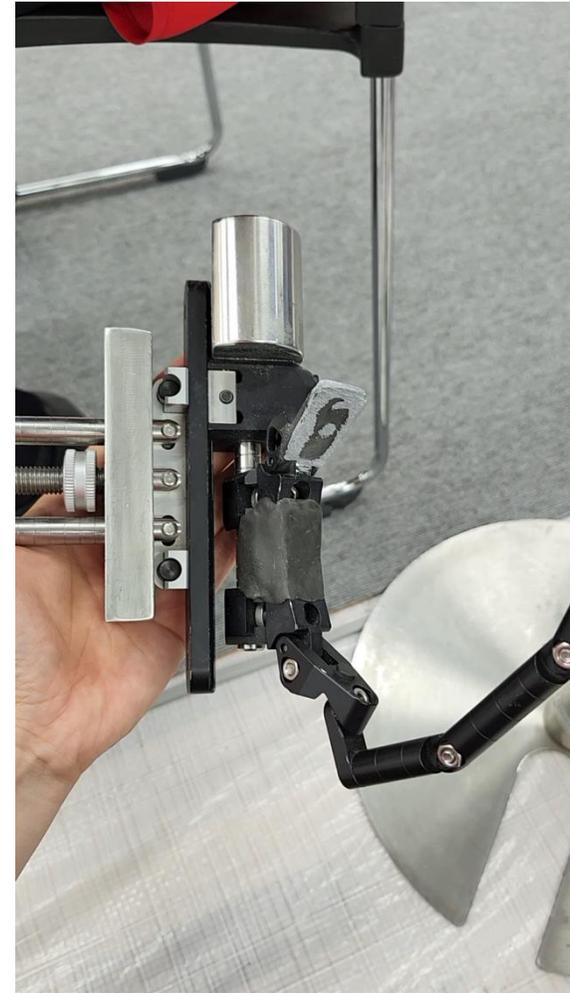


## ■ 【Case 2】 ライフルテンプレートの上では合格ですが…？

**正解：**バットプレートを銃身軸線から  
水平に回転させると深さが  
25mmを超えていた

### 7.4.5.1

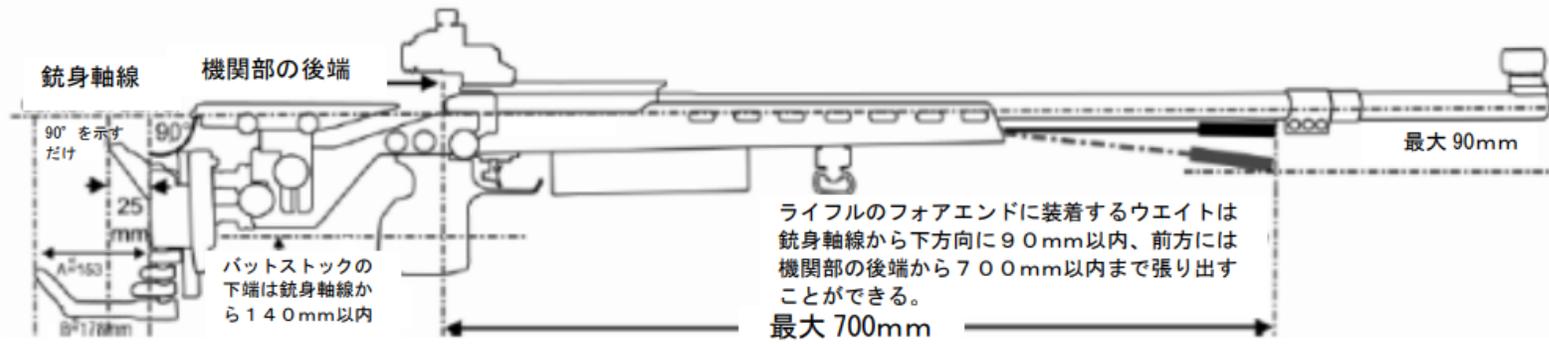
バットプレートの上部は、そのへこみの  
最深部から、後方25mmを  
超えてはならない



## 【Case 2】 ライフルテンプレートの上では合格ですが…？

対応：コーチを通してルールに合うよう修正依頼

事前検査で見つければ、選手の修正時間を確保できる(失格を防ぐ)



### 7.4.5.1

#### フックバットプレート

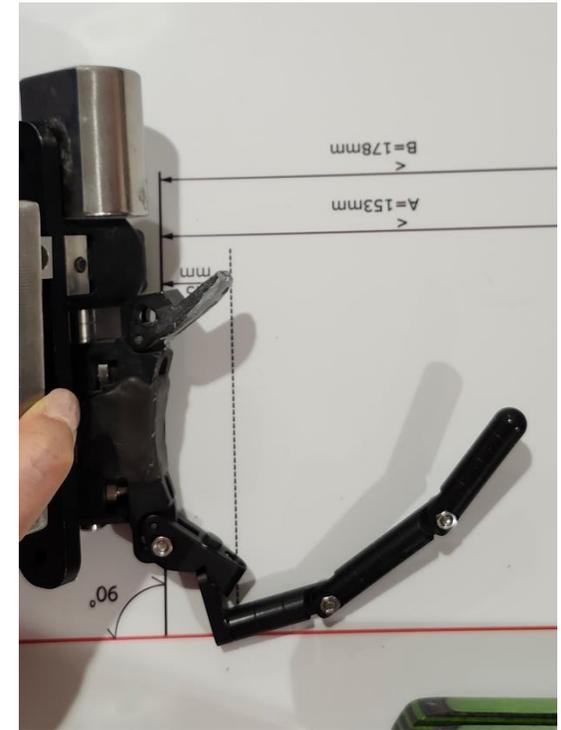
次に示す制限に合うフックバットプレートが使用できる。

バットフックは、銃身軸線に対して直角をなし通常肩にあたるバットプレートの凹みの最深部に接する線を基準として、後方153mm（A）を超えてはならない。

そのフックのカーブの外側の全長は178mm（B）を超えてはならない。

バットプレートの上端の部分の突出は、銃身軸線に対して直角をなし通常肩にあたるバットプレートの凹みの最深部に接する線を基準として、後方25mmを越えてはならない。

バットプレート下部から前方または側方に向かって突出するような装置やウエイトは禁止される。



<修正後>

【Case 3】違和感の正体は・・・！？



Photo courtesy of Annie (TPE)

正解：射手の足が射撃線上にある

※6.4.5.4

射撃線は明瞭に示されていなければならない。射距離は標的線から射撃線の選手側の端までの距離が計測されなければならない。選手の足または伏射姿勢での選手の肘を射撃線上に置いたり、射撃線を越えて標的側に置くことはできない。



Photo courtesy of Annie (TPE)

正解：グリップの形状が加工されている

7.4.2 300mスタンダードライフルと10mエアライフルの規格

f) **ピストルグリップ**: ピストルグリップは銃軸線を含む垂直面から側方に60mmを越えて張り出しはならない。また、最下点は銃身軸線から160mmを超えてはならない。グリップ力を増すような物質を付けることはできないし、手形等を作ることもできない。

「解剖学的形状」とは、「特定の選手の手フィットするように、メーカーが供給するオリジナルのグリップに素材を追加または削除すること」と解釈できる。グリップは下図のように滑らかであるべきであり、個々の指や親指の形状に合わせて成形されるべきではない。3Dプリンターで製造されたものや格子構造のものは、選手の手個別にフィットするように成形されていない限り許される。

## 【Case 4】 ここまでみてきたみなさんは、すぐに気が付きますね…!



Photo courtesy of Annie (TPE)

正解：後方ウェイトが突き出している

### 7.4.2.2 ウェイト

- c) 銃身ウェイト以外のウェイトはライフルのどの部分にも装着ができるが、次の図で示す範囲内に限られる。フォアエンドの下側に取り付けられるウェイトについては、水平方向（側方）には、チークピースの最大拡張幅（J1）を超えて取り付けることはできない。バットストックに取り付けられるウェイトは、バットプレートの最深部を通る垂直線より後部に突き出して配置することはできない。

正解：グリップの形状が加工されている

### 7.4.2 300mスタンダードライフルと10mエアライフルの規格

- f) **ピストルグリップ**：ピストルグリップは銃軸線を含む垂直面から側方に60mmを越えて張り出しはならない。また、最下点は銃身軸線から160mmを超えてはならない。グリップ力を増すような物質を付けることはできないし、手形等を作ることもできない。「解剖学的形状」とは、「特定の選手の手にフィットするように、メーカーが供給するオリジナルのグリップに素材を追加または削除すること」と解釈できる。グリップは下図のように滑らかであるべきであり、個々の指や親指の形状に合わせて成形されるべきではない。3Dプリンターで製造されたものや格子構造のものは、選手の手に個別にフィットするように成形されていない限り許される。

## 【ECまとめ】

### 事前検査の重要性

- 用具の不備はできるかぎり事前検査で見つけ出す
- 選手が試合に集中できる環境を作る  
→失格を未然に防ぐ、公平性を担保する

6.8.4 ジュリーはたえず選手の射撃姿勢や用具を観察しなければならない。

6.8.5 ジュリーは、練習および競技中いつでも、選手の銃、用具、姿勢などを検査する権利を持つ。

### 用具検査は落とすための検査ではなく、 公平性を担保するためのサポート的役割

- 相互チェックと学びの継続
- 1人より複数の目(チームの判断)
- 見落としを認めて、最善の判断を下す



**RTSジュリー**

**講師：栗生 由紀**

## ■ RTS チーム・業務の全体像

### 役割

- 成績・計時・採点（Results, Timing & Scoring）の統括、迅速かつ正確に行う
- 各射場のターゲットテストの内容確認
- スタートリスト作成・変更管理（各種目PETの前日16時までに掲示）
- スコアボードへの成績発表（速報・確報）、TDへの結果報告
- 各種レポート書類の管理・集計、大会リザルトブックの作成

### 体制・業務場所

- 体制： ジュリー 1名、オフィサー 4～5名
- 場所： NTC 地下1階射撃場、1階スコアボードエリア

### 運用の工夫・注意したこと

- LINEグループやインカムの利用によるチーム内連絡体制
- 大会期間中は射場内のシステム（SIUS標的・PC・モニター等）の電源は入れたまま
- 事前確認の徹底（スコアボード回りの備品が揃っているか、役員に渡す印刷物の部数とタイミング、スタートリスト掲示締切日など）
- 各種レポート（IR, CN フォームなど）は青色のペンを使用する（原本かコピーか即時確認できる）
- 毎日朝礼にて、チーム内での共通認識を図る

■ 他大会にも応用できること

## 情報共有の手段

- 情報共有ツールを複数持つと良い
  - テキストチャットの通知は必ずオン（音は出さない！）、インカム等の音声ツール

## スケジュール管理

- 業務初日に、スタートリスト作業のTo Doを落とし込むと、いつ何をすべきか分かりやすくなる
  - エントリーリストの変更：各種目のPET前日12時が締め切り (Rule# 6.6.4)
  - スタートリスト：各種目のPET前日16時までにスコアボードへ掲示 (Rule# 6.6.5)
  - ミックスチームのメンバーリスト：各種目の2日前の14時までに組織委員会から収集し、スタートリストを作成 (Rule# 6.18.1.4)

## ターゲットテストの内容確認

- 各標的に5発撃ち込むイメージをテスターに共有すると良い（なるべく弾痕は散らすことを伝える）

## リザルトブックの準備

- 毎日その日の結果をトラッキングのため、スプレッドシート等で検算すると良い
  - （各国のエントリー数、メダル獲得者数など）

## スタートリストの To Do

Day#	Date	Time	To do
Day 0	14 Nov 2025	12:00	Deadline for updates to Entry List
		16:00	publish Start List - 10m AR60 M (PET on Day 1)
		16:00	publish Start List - 10m AR60 W (PET on Day 1)
Day 1	15 Nov 2025	12:00	Deadline for updates to Entry List
		16:00	publish Start List - 10m AP60 M (PET on Day 2)
		16:00	publish Start List - 10m AP60 W (PET on Day 2)
Day 2	16 Nov 2025	14:00	Deadline for Mix team member list (Collect from OC)
		16:00	publish Start List - 10m AR Mixed Team (Qual on Day 4)
Day 3	17 Nov 2025	12:00	Deadline for updates to Entry List
		14:00	Deadline for Mix team member list (Collect from OC)
		16:00	publish Start List - 50m Prone M (PET on Day 4)
		16:00	publish Start List - 10m AP Mixed Team (Qual on Day 5)
Day 4	18 Nov 2025	12:00	Deadline for updates to Entry List
		16:00	publish Start List - 50m Prone W (PET on Day 5)
Day 5	19 Nov 2025	12:00	Deadline for updates to Entry List
		16:00	publish Start List - 50m 3P M (PET on Day 6)
Day 6	20 Nov 2025	12:00	Deadline for updates to Entry List
		16:00	publish Start List - 50m 3P W (PET on Day 7)
Day 7	21 Nov 2025	12:00	Deadline for updates to Entry List
		16:00	publish Start List - 25m Pistol M (PET on Day 8)
Day 8	22 Nov 2025	12:00	Deadline for updates to Entry List
		16:00	publish Start List - 25m Pistol W (PET on Day 9)
		16:00	publish Start List - 25m RFP M (PET on Day 9)
Day 9	23 Nov 2025		No more publish Start List
Day 11	25 Sep 2025		Finalize Result Book

1. 新ルール of 国内適用方針
2. 主なルール変更点 (抜粋)
3. ジュリーの実践事例 (2025デフリンピック東京)
4. さいごに

## ■ ツール名

**NotebookLM** (Googleが提供する無料のAI検索アシスタント)

## ■ 何ができるのか？

- PDF版のルールブックを読み込ませると、**ルールブックに基づいた「ルールチャットAI」**が作れる。
- チャット形式で「〇〇の場合の裁定は？」「該当するルール番号は？」と聞くだけで、即座に**ルールブックの該当箇所を特定し、出典付きで回答**してくれる。
- ルールブックをページをめくって探す手間が省ける。
- 現場での円滑な判断やコミュニケーションに活用できる。

## ■ クロスファイアの対応手順を質問する

## 新しく使い始める手順

The screenshot shows a Google search for 'notebooklm'. The search bar at the top contains 'notebooklm'. Below the search bar, there are navigation options: AI モード, すべて, 動画, ニュース, 画像, ショート動画, ショッピング, もっと見る, ツール. The search results are as follows:

- Google NotebookLM**  
https://notebooklm.google.com · このページを読む  
Google NotebookLM  
Not your computer? Use Guest mode to sign in privately. Learn more about using Guest mode. Next. Create account. English (United States).
- notebooklm.google**  
https://notebooklm.google/...  
AI リサーチツール&思考パートナー - Google NotebookLM  
NotebookLM は、ソースを分析して複雑な内容を明確にし、ユーザーのコンテンツを変革する、AI リサーチツール兼思考パートナーです。

**関連する質問**

- NotebookLMは無料ですか？
- NotebookLMの何がそんなにいいの？
- NotebookLMとChatGPTのどちらがいい？
- NotebookLM どこまで無料？

**Knowledge Panel: NotebookLM**

- GoogleのNotebookLMとは？  
基本機能  
最新アップデート  
始め方  
徹底解説
- NotebookLMとは？  
ChatGPTと何が違う？  
使い方や活用事例  
徹底解説
- Google NotebookLMは、Googleが提供しているGeminiを用いたAIリサーチアシスタントである。
- 出典: ウィキペディア
- 開発元: Google

**他の人はこちらも検索**

- Gemini
- ChatGPT
- WhatsApp
- Gmail

もっと見る >

**ビジネス+IT**  
https://www.sbbit.jp / IT戦略 / AI · 生成AI  
Gemini×NotebookLM連携がスゴい...カスタムAI「Gem機能」...  
17 時間前 — Googleの新しいカスタムAI機能「Gem」と、NotebookLMというAIツールを連携することで、組織ごとの独自の知識をAIが理解して、実務に活用できる時代が...

**動画**

## ■ 使い方ステップ

1. アクセス：ブラウザで「[NotebookLM](#)」と検索し、Googleアカウントでログイン。
2. 新規登録：「ノートブックを新規作成」から新規登録する。
3. ソースの追加：「ソースを追加」「ファイルをアップロード」から、日ラ公式HPからダウンロードした[最新のルールブック \(PDF\)](#)をアップロード。
4. 質問する：チャット欄に聞きたいことを入力。
  - 例：「50m三姿勢で隣の選手に打ち込んだ選手がいる。どう対応したらいい？」
  - 例：「ジャケットの硬さ検査で3.0mmが出なかった時の対応手順は？」

## ■ 注意点

- **AIの回答を鵜呑みにせず、必ず元のルールブックの原文を確認すること。**

- 新ルールおよび関連知識の最新動向を理解し、運営への反映を図る。
- 過去事例をもとに、競技会規模を問わず応用可能な運営上の知見を習得する。
- 得られた情報を競技会および加盟団体へ展開し、全国的な運営水準の向上につなげる。

# アンケート回答のお願い

- 積極的なご回答をお願いいたします（回答内容を評価するものではありません）
- 回答期限は**2026年3月31日**です



<https://forms.gle/9nTsEEYpuuwDXKu67>

- その他お問い合わせは競技運営委員会のメールアドレスへお願いいたします  
kyogi@riflesports.jp

**ご参加ありがとうございました。**